

受益者の皆さまへ

情報提供資料

2024年8月2日

弊社ファンドの8月2日の基準価額の下落について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
2024年8月2日、弊社ファンドの一部において、基準価額が前営業日比5%以上下落しました。
該当ファンドおよび基準価額の下落要因について以下の通りご報告させていただきます。

1. 基準価額が前営業日比で5%以上下落した公募投資信託

ファンド名	基準価額	前営業日比	騰落率
りそな日本中小型株式ファンド (愛称:ニホンノミライ)	13,519円	-982円	-6.77%
りそな つみたて国内株式アクティブファンド	18,162円	-1,339円	-6.87%
日本厳選株式ファンド (愛称:ニホンノヒカリ)	10,720円	-641円	-5.64%
日本株式インパクト投資ファンド	7,347円	-495円	-6.31%
りそな日経225インデックス	13,434円	-818円	-5.74%
国内株式ESGインデックス・オープン	12,964円	-856円	-6.19%
日本厳選価値向上株式ファンド (愛称:リバイバル・ジャパン)	11,610円	-772円	-6.23%
りそなTOPIXインデックス	9,886円	-645円	-6.12%
FWりそな国内株式インデックスファンド	18,920円	-1,234円	-6.12%
Smart-i TOPIXインデックス	18,419円	-1,202円	-6.13%
Smart-i 日経225インデックス	20,793円	-1,267円	-5.74%
Smart-i 国内株式ESGインデックス	17,233円	-1,138円	-6.19%

※ 前営業日比はファンドの収益分配金(課税前)のお支払いを含めた表示となっておりますが、騰落率については収益分配金(課税前)を再投資したものとして計算した数値を用いて算出しています。

2. 基準価額の下落要因

8月2日の金融市場では、前日の米株安の流れを引き継ぎ、大幅に下落しました。日銀の追加利上げに対する警戒感が残るなか、主に米雇用環境悪化を示唆する指標が相次いだことによる米国の景気後退懸念の高まりが、主な下落要因となりました。

上記を背景に国内株式市場の大幅な下落が発生し、業種別で見ても電気機器・機械などの景気敏感セクターや、銀行業・保険業などの金融セクターを中心に全面安の展開となり、該当ファンドの基準価額の下落に繋がりました。

3. 世界の主要市場の動き

参考指数・参考レート	前日終値	基準日	直近終値	基準日	前日比	騰落率
日経平均株価	38,126.33	8月1日	35,909.70	8月2日	-2,216.63	-5.81%
TOPIX(東証株価指数)	2,703.69	8月1日	2,537.60	8月2日	-166.09	-6.14%
ダウ工業株30種平均	40,842.79	7月31日	40,347.97	8月1日	-494.82	-1.21%
S&P500種指数	5,522.30	7月31日	5,446.68	8月1日	-75.62	-1.37%
米ドル(対円)	149.62	8月1日	149.52	8月2日	-0.10	-0.07%
ユーロ(対円)	161.96	8月1日	161.35	8月2日	-0.61	-0.38%

出所:ブルームバーグのデータをもとにりそなアセットマネジメントが作成。

<当資料についての留意事項>

- 当資料は、情報提供を目的として、りそなアセットマネジメント株式会社が作成したものです。
- 当資料は、投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 当資料は、当社が信頼できると判断した情報をもとに作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 運用実績および市場環境の分析等の記載内容は過去の実績および将来の予測であり、将来の運用成果および市場環境等を示唆・保証するものではありません。また、将来の市場環境の変動等により、運用方針が変更される場合があります。
- 当資料に指数・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権、その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の記載内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

商号等:りそなアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2858号
加入協会:一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会